

放課後等デイサービス 有永寮 事業所における自己評価結果（職員）

社会福祉法人 愛誠会

実施日：令和6年2月 配布数：7 回答数：7 回答方法：無記名

項目	番号	チェック項目	はい	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・目安となる数値よりも広いスペース（一人当たり2.47㎡）を確保しています。 ・年齢や体力別に活動部屋を分けることができる。中庭でも活動を行なうことができる。
	2	職員の配置数は適切であるか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・法定基準以上の職員を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・和室、玄関の段差はありますが、必要に応じて手添えをし、危険を回避しています。
業務改善	4	事業改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に沿った目標に対する取り組みを毎月話し合っています。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者対応等でも、意見を伺う機会を設けています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・法人ホームページにて事業所評価を掲載しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を確保しているか		7	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価(業者等)は実施しておりません。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修にリモートや集合形式で受講しています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント、保護者様への聞き取りを実施し、職員で会議をしたうえで、計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所独自のアセスメント表を活用しています。同時に、相談支援事業所から提供されるアセスメントの活用や、保護者からの情報提供(専門家による知能検査等及び所見)も参考にしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員だけでなく、他職員に意見を聞きながら作成し、児童発達管理責任者が確認をしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・運動、SST、音楽療法、絵画制作などを組み合わせた活動を提供しています。ソーシャルスキルトレーニングは年間計画、月間計画を作成し、計画に沿って支援をしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達それぞれの個別支援計画に沿った活動を取り入れ、各自の成長を促すと共に、休日や長期休暇には集団活動を多く取り入れる様にしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画をもとにして、個別療育、集団活動、SSTなどを組み合わせた計画を作成しております。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日利用児が通所する前に打ち合わせをしています。 	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			・終礼で、支援の振り返り、統一事項の確認を行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			・毎日、ケース記録等をとっています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			・モニタリングを実施し、会議を行い判断しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	7			・運動、集団、個別活動、制作活動などを組み合わせて支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			・児童発達支援管理責任者を始め、担当者も参画しております。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			・保護者を通じて年間計画を把握し、下校時刻の確認を行っています。又、困難事例に対しては保護者を通じて学校とも支援の統一を図っています。 ・放課後等デイサービス連絡協議会に参加し、学校の先生からの伝達事項を確認しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	無回答	7			・該当者なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7				・同一法人の児童発達支援事業所からの児童は、情報提供をしています。同一法人以外の児童については、相談支援事業所からの情報を基に、支援に当たっています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7				・相談事業所を通して伝えています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7				・センターから情報を得たり、オンデマンド研修も受講しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	2			・散歩中に挨拶を交わすことはあるが、一緒に活動はすることはほぼありませんでした。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	7				・自立支援協議会のアンケート提出や議事録閲覧をしています。 ・静岡市葵区駿河区放課後等デイサービス連絡協議会に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7				・お迎えの際、保護者様とお話をする中で共通理解に努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7				・愛誠会の支援アドバイザーの浜松学院大学短期大学部の志村浩二教授に児童部門向けに講演会を実施して頂いています。 ・発達年齢、社会年齢に合わせて今必要なこと、これから身に付けたいスキルなどの情報を提供し、本人に合わせた支援方法を一緒に考えています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			・随時説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			・お迎えの際に保護者さんからの相談をくみ取り、支援に活かしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7			・ファミリーミーティングを今年度はありませんでした。保護者講演会を集合形式で行い、保護者同士で交流されている方がいらっしゃいました。	

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		・苦情窓口を玄関に掲示しています。年度初め、及び利用開始時に苦情に対する体制を配布しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		・法人ホームページやリタリコにブログを掲載し、活動内容を発信しています。また、法人の会報誌(のぞみだより)を毎月送付し、玄関にも掲示しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	7		・個人情報を取り扱う上での規定に沿って支援を行っています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		・子どもには視覚支援を取り入れ、わかりやすい情報伝達手段で伝えています。保護者様には、アプリやブログを使った情報伝達を行う等配慮しています。視覚支援を目的としたタブレットの導入を検討しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7		・法人の祭り等の行事に地域住民を招待しています。 ・総合防災訓練を隣施設と一緒にしています。
非時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7		・年度初め、利用開始時に各マニュアルを保護者に配布しました。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		・児童にわかりやすい視覚支援を取り入れた訓練を毎月1回曜日を替えて行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		・外部講師を招いた虐待防止研修を行ないました。毎月、虐待防止の取り組みを行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7		・これまで対象者はいませんが、マニュアルは整備されており、個別支援計画にも記載しております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7		・保護者よりアレルギーへの対応を聞き、食事の際に対応しております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		・ヒヤリハット事例が出た際、事業所内で回覧すると共に終礼にて全職員に周知しています。